

## いよいよ本格化するか、国の水素戦略

8月23日総理大臣官邸で岸田総理大臣、西村経済産業大臣、経団連の十倉会長などが出席して「GX=グリーントランスフォーメーション実行会議」が開催された。

この会議において、来年度当初予算案の概算要求に新たな国債、「GX 経済移行債」を活用した投資促進策として総額1兆2000億円余りを盛り込むことが報告された。

この予算の中に水素に関していえば、水素を製造する装置や蓄電池などへの設備投資が含まれ、具体的には水電解装置、蓄電池、ペロブスカイト太陽電池、余剰電力の有効活用などが例示されている。そしてそれに関連して国内サプライチェーン構築の支援も掲げられており、水素エネルギーの価格削減策も検討されるようである。脱炭素へ向け今後本格的な戦略に取り組むと思われるが、その中で水素の利活用が大きな役割を担っていくことが期待できそうである。